

入画

柳

様

E 32

547

2

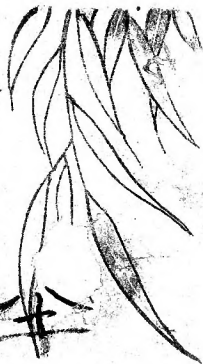




重  
箱

F 32-547

蓮花  
半  
の  
花  
は  
う  
る  
さ  
い



吉  
年  
吉  
年  
吉  
年  
吉  
年















人我  
はる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

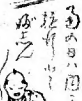
はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる



はる  
さる

はる  
さる

はる  
さる



はる  
さる

はる  
さる



はる  
さる

















おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり



おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり



おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり



おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり



おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり

おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり



おむすこ  
つたれも  
あまの  
まゐり



竹ふれ

かき

きうつれ

かき

かき

かき

かき

かき



かき

かき

かき

かき

かき

かき



かき

かき

かき





おきく

つみ

おきく  
おきく



おきく

おきく



おきく

おきく

# 新板柳尊

西國  
元柳橋

E 32

- 547

h





法正院司居士浴桶  
松永齋百年来馬車  
紅大菊川持し開券を



川柳橋

松永齋  
紅大菊  
川持し  
開券を  
杜撰

梅亭利

銭湯持鉢  
天宮寺  
二ツと  
眠樹園持鉢  
夕の月  
めく



松石長辨  
石

砂

面影 松石

松石乃てハ案乃てハ案

折草

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案



松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案

松石乃てハ案乃てハ案







百物人云か、  
とがやとあひ

切る器をあて  
大いし櫛もどく

抱へて考ふ  
おもと義の門出

あへんふえと  
とひるさきと

あへんふえと  
とひるさきと

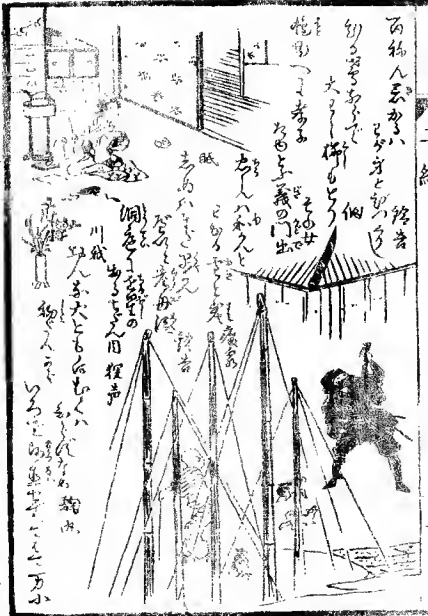
あへんふえと  
とひるさきと

あへんふえと  
とひるさきと

あへんふえと  
とひるさきと

あへんふえと  
とひるさきと

あへんふえと  
とひるさきと



新とあひあひ  
はくのもあひ

身はちのと  
あひあひあひあひ

あひあひあひ  
あひあひあひ

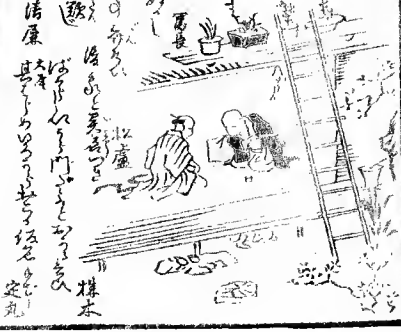
あひあひあひ  
あひあひあひ

あひあひあひ  
あひあひあひ

あひあひあひ  
あひあひあひ

あひあひあひ  
あひあひあひ

あひあひあひ  
あひあひあひ





一カハ飛石一ワ  
何カハ飛石二重

三子

西山

家  
の  
あ  
づ  
け

琴、檀、

聲

九

イ、

石の  
子

花鳥

毒氣大北宗

[illegible]

照乃  
力  
眠  
樹  
老  
評

光緒二十九年

2025

あしひ

元

孝の天川や

臭魚

2.2.1

史の  
系の  
のり

子

22

牙の

天志

中

義士の  
美しき  
子丸

少中七叔今重集

マキ 未せうぶて

上  
江  
兵  
部  
少  
輔  
の  
子

2010







物ふしの字は

れとてとう藤原

通船の字あり

葉うきめり

人海の心ハ

申いかさ

あんの

老眼

もみ

株木

えん

あけ

楽笑

な

た

柳

大

雅

ふ

二

今

ふ

あ

今

柳

楽笑

老

井

河

人

本

八



細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

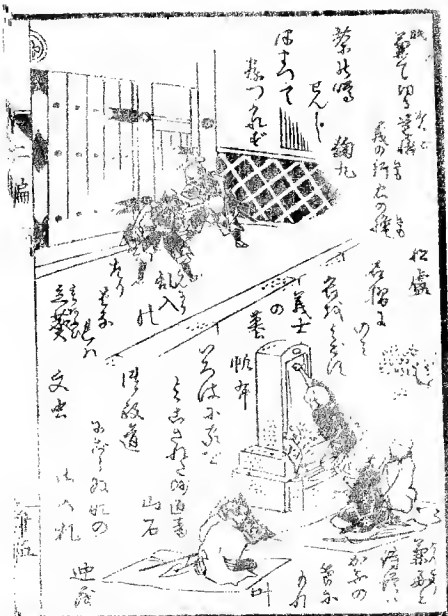
細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

細  
運  
近  
橋  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十



紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九

紫  
花  
九



人知れぬ

お宿  
お宿の平屋上

でも何軒とまて

大石の安房

義巴

持先お入

人知れぬ

香江中

深き家

細

細

おとまり

細

おとまり

おとまり

おとまり

おとまり

おとまり

おとまり

おとまり

おとまり

三朝

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ

白くハ



金

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

おとまり

おとまり

折亭

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝

三朝



日向使と

ス

柳宗

かみ

五の

銀の

風

うけ

茶

九

世

柳亭

雲

世

松

本

付内代

九

東

や

四

五



肥

九

柳

青

一

仕

板

九

柳

柳

松

松

おのれ上

そぞろ趣ろへ島あやめ 赤ぬ

大層の

上あ

い豊

外

あつて川岸さる一カや

炭子

おのれ上

あやめ

おのれ上

おのれ上

おのれ上



おのれ上 集馬

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

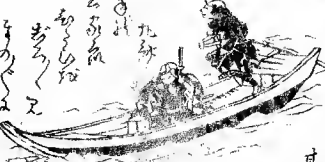
おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上



おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上

おのれ上



おのれ上

おのれ上

くさくさ  
くさくさ  
くさくさ

泉島へちりく

松盧

松の

松

炭との

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

二合

早半



ちりく

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松

松







おくと湖の

柳をて音と

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分

大分





はうはわは 十六のの 風堂

少あり 柳河うきを

そもも 集馬 割切おれ

おんは 箱作り

細丸

おふ 珍字

声ありてれうお

同 矢回

馬車息子

くさぬ

切りたれい

ぬき

巨眼

焼蛇場

三篠ぬり

河原

青志



梅千次

解其の役

柳子あハ 梅島

どぞんれ

用い

新有

と頭痛

十九丸

新有

あふし名

一枚

きん

一校

あうハ

風ふ

木雲

はれ

遠月あう

あふし

新有

梅先と

子安

梅先と

子安

梅先と

子安

ね

万八の子供

用人の病

松盧

おつと

おつと

おつと

道身と云ふところ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

上戸

下戸

里谷

お母と云ふ



万小

二を月

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

御東

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

お母と云ふ

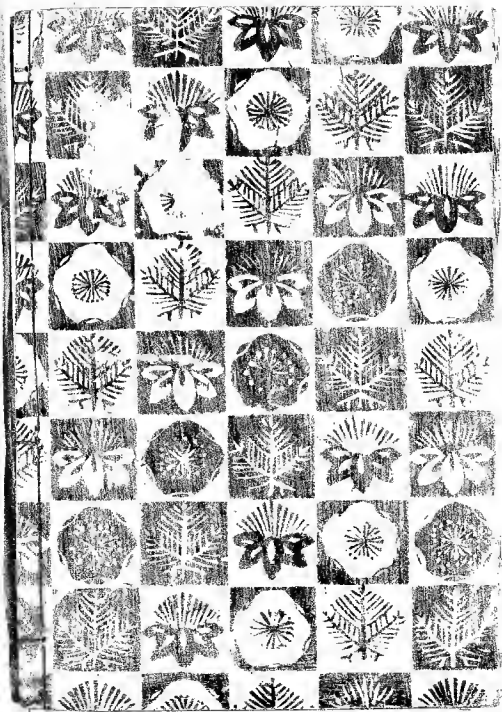
お母と云ふ

お母と云ふ











E 32

547

c































水色みづいろの持も持も

都みやこ

あまのこゝろ

木きの

本  
明治三十年ノ夏

丹波の東京へ  
出でる

皇みかどの

天あめの

三さんの

東ひがし京きやう花はな錦にしき繪え類るい

繪え本ほん類るい品しやう々々増ぞう博はく本ほん

南みなみ都みやこ油あぶら煙えん墨ぼく

此外、當時流行歌類  
澤山仕入座間  
御用向之程偏奉願す

大おほ工こう細こ工こう繪え類るい

愛あい計けい式しきいりく  
長なが歌うた新あらた内うち本ほん

萬ばん本ほん類るい繪え草くさ紙し

閑かん屋や

木屋安兵衛板

大坂道頓堀日本橋南詰東五八

